

2014年11月13日

弊社エアバッグに係るリコールについて

本日、弊社の米国子会社である TK HOLDINGS INC. (アメリカ ミシガン州) にて製造した運転者席側エアバッグの不具合に起因するリコールの届出を、本田技研工業株式会社様が日本等で行いました。このリコールは、本年7月にマレーシアで起きた事故の調査の結果、運転者席側エアバッグのインフレーターのうち、製造時におけるガス発生剤の吸湿管理が不適切であったものがあり、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがあることから、実施されるものと承知しております。

この度の事故で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、弊社製品ユーザー様、取引先様、株主様をはじめ関係する皆様に多大なるご心配・ご迷惑をお掛けしておりますことを、深くお詫び申し上げます。弊社といたしましては、今回のリコールの実施に全面的に協力するとともに、全社を挙げて弊社製品の品質管理体制の強化を図り、再発防止に取り組む所存です。また、関係当局からの照会や要請にも全面的に協力して参ります。

弊社エアバッグの不具合により皆様にご迷惑をお掛けしておりますが、皆様にご安心いただける製品をお届けし、信頼を回復できるよう、今後も全力を尽くして参ります。ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

タカタ株式会社
代表取締役会長兼 CEO 高田 重久